

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H22.11.30現在)

	11月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成22年度(今年度)	7件	55件	2人	19人
平成21年度(昨年度)	14件	66件	0人	25人

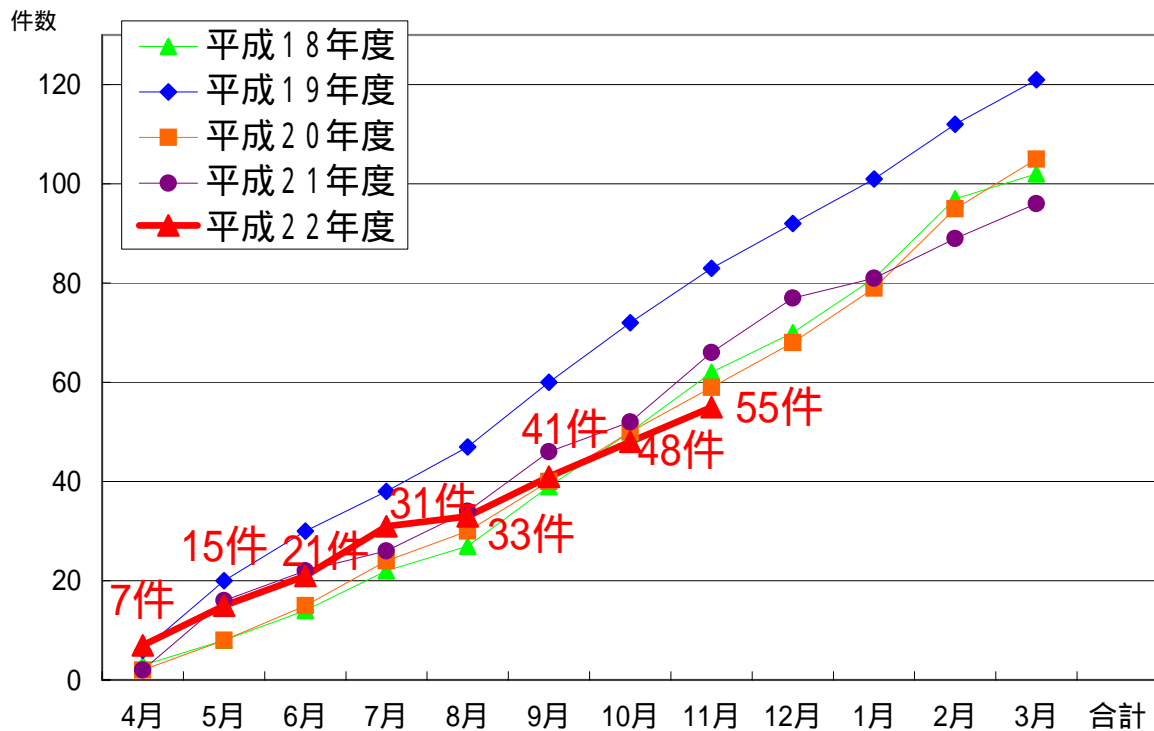
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「11月発生件数」は、11/1～11/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～11/30の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～11/30の累計人数を示す。

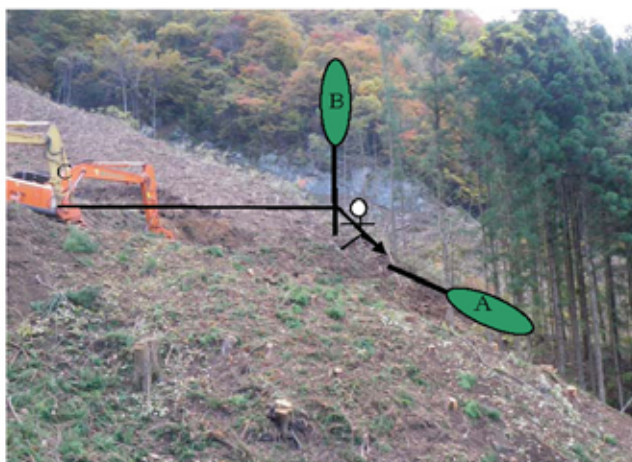
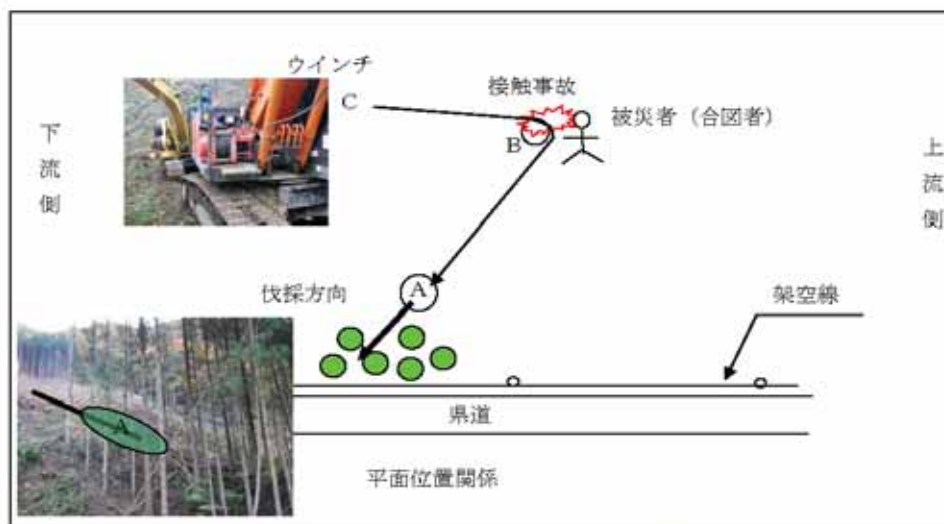
注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先: 企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 22 年 11 月 5 日 (金)	9 時 0 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	27	作業員	左母指基節骨開放性粉碎骨折
事故概要	伐採木の集積作業中に、作業員の指がワイヤーロープと木に挟まれ、負傷したもの。			

事故発生状況



・ウインチで1本ずつ引きながら伐採・集積作業を行っていた。

・すでに伐採した木が支障となるため、上部にあった木を介してワイヤーにて集材していた。

・ワイヤーの高さを調整作業中に被災者がワイヤーを握ったまま合図をしたため、ワイヤーと立木の間指が挟まり、負傷した。

【事故発生原因】

- ・動く可能性のあるワイヤーをつかんだ状態で合図を行ったため。
- ・オペレータが合図者の合図を間違えて操作したため。

【事故防止のポイント】

- ・必ず合図者が安全な場所に退避したのを確認してから操作する。
- ・事前に合図者、オペレータの間で合図等誘導方法の確認 など

発生日時	平成 22 年 11 月 5 日 (金) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	官用車で空き地にてUターンしようとしたところ、コンクリート片に接触し、官用車を損傷させたもの。				

事故発生状況



コンクリート片があった場所



コンクリート片



車両損傷(左前部バンパー)

【事故発生原因】

・運転手の周囲確認不足。

【事故防止のポイント】

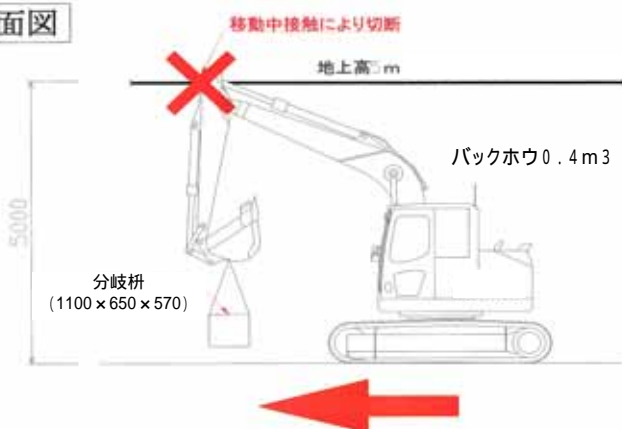
・車両安全運転教育の徹底
 ・草むらなど支障物の目視が困難な場所には不用意に立ち入らないこと。
 など

発生日時	平成 22年 11月 6日 (土) 23時 45分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 AS舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種		
	-	-	-	車両感知器ケーブル損傷	
事故概要	バックホウにて分岐柵を吊り移動作業中、ブームを架空線に接触させ、ケーブルを損傷させたもの。				

事故発生状況



断面図



・拡幅歩道内における電線共同溝工において、分岐柵(1100×650×570)をバックホウで吊って移動する作業であった。

・バックホウ(0.1m3移動式クレーン仕様)を使用する計画になっていたが、実際は、別の用途に使用するバックホウ(0.4m3移動式クレーン仕様)を使用したため、ブーム先端部で地上高5mにあった車両感知器用ケーブルに接触し、切断した。

【事故発生原因】

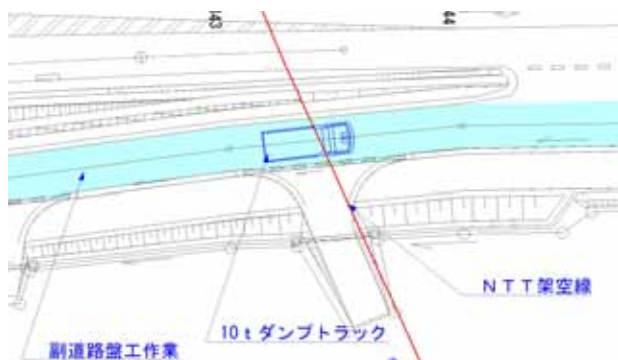
・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
 ・当日使用予定でなかった機械を使用したため。 など

【事故防止のポイント】

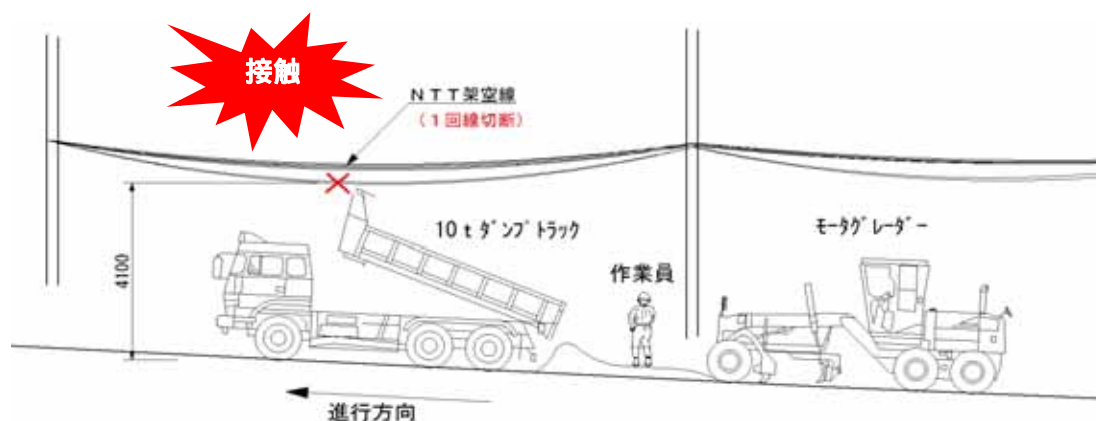
・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
 ・当日の作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22年 11月 22日 (月) 11時 4分			天候	曇のち雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT電話線切断	
事故概要	10tダンプトラックで路盤材を荷下ろし中、ダンプ前方荷台部がNTT電話線に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



架空線切断状況



- ・路盤工を施工中に粒度調整砕石を10tダンプにて搬入。
- ・付近にいた作業員が架空線の接近に気付き、ダンプトラック運転手に「荷台を下げろ」と注意したが、「もっと前へ」と勘違いし急発進した。
- ・このため、荷台が架空線に接触し、1本切断した。

【事故発生原因】

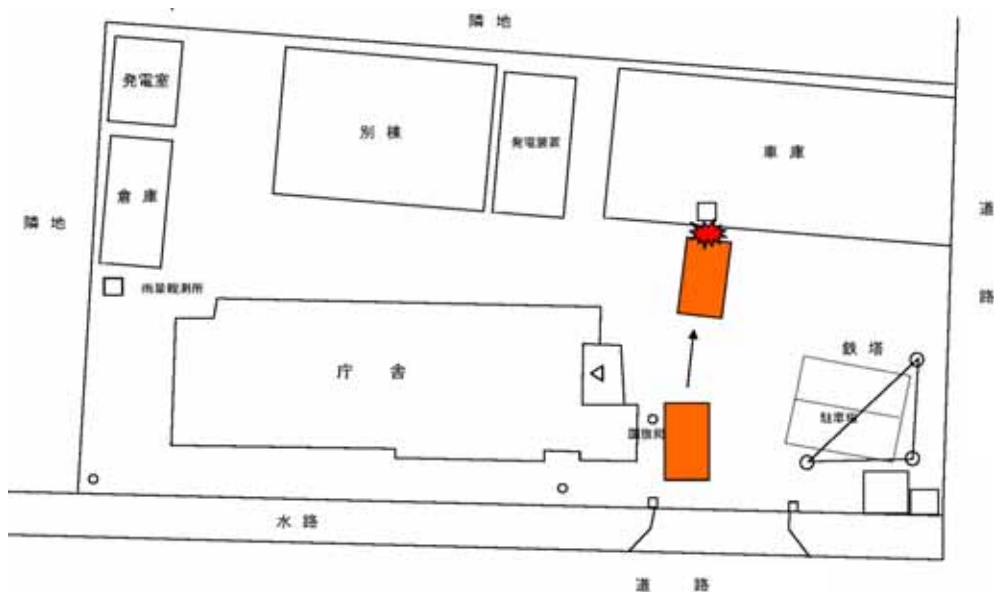
- ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・誘導方法の作業員への周知徹底不足。
など

【事故防止のポイント】

- ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
- ・誘導者の配置、及び合図等誘導方法の確認。
など

発生日時	平成 22 年 11 月 22 日 (月) 16 時 5 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	河川巡視後、車両を車庫に入庫する途中に、車庫の柱に接触し官用車を損傷させたもの。				

事故発生状況



(接触事故発生場所)



(車両損傷箇所)

【事故発生原因】

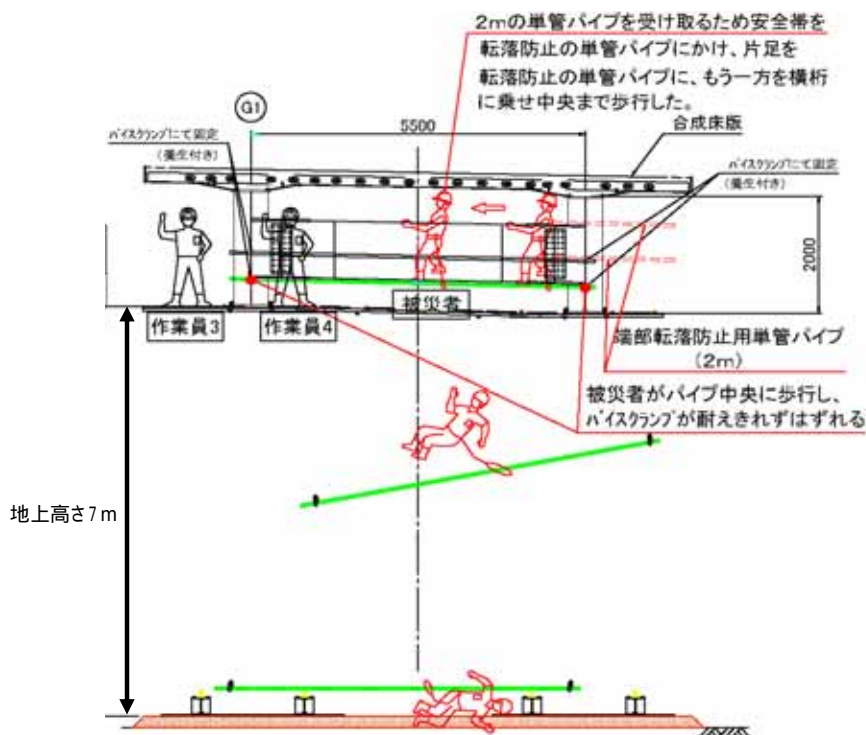
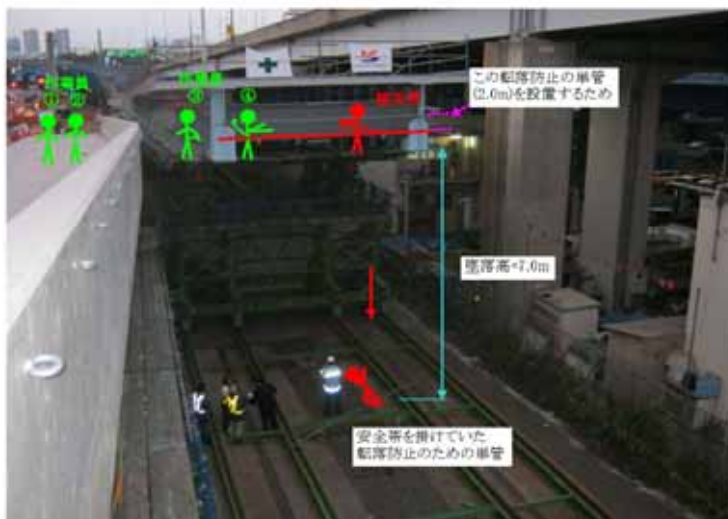
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など

発生日時	平成 22 年 11 月 27 日 (土)			15 時 43 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	33	作業員	死亡		
事故概要	橋梁上部工の送り出し作業準備にて、足場上の開口部に転落防止のための単管パイプ取り付け中に、作業員が足を滑らせ高さ7mから砂利の地面に転落し死亡したもの。					

事故発生状況



【事故発生原因】

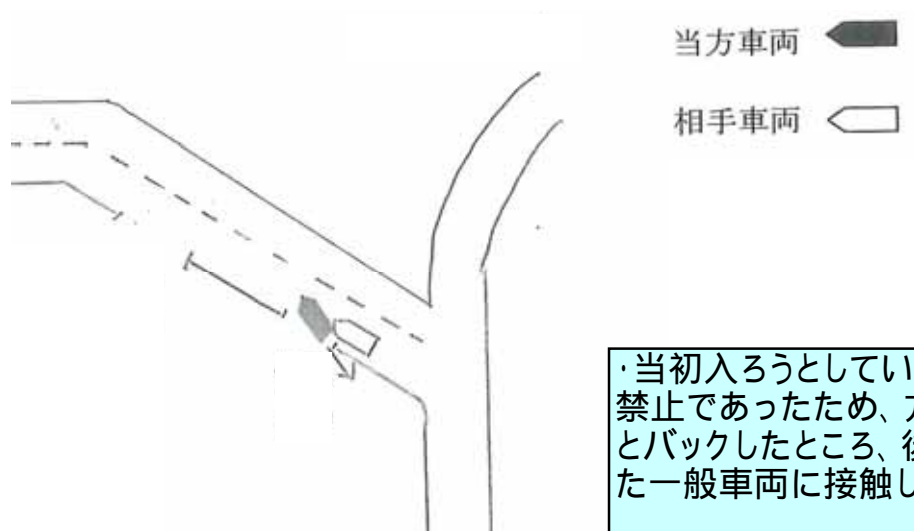
・調査中

【事故防止のポイント】

・親網を腰より高い位置に設け、安全帯をかけるように作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22 年 11 月 29 日 (月) 15 時 10 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車両・官用車損傷	
事故概要	官用車が方向転換を行うためバックしたところ、後ろから来た一般車両に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



・当初入ろうとしていた入口が進入禁止であったため、方向転換しようとバックしたところ、後ろから来ていた一般車両に接触したものの。



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・進行方向の安全を確認し、急発進等を避ける。 など